

1970 - 1971

# 委員会活動報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1971、6、24

## 会 長 報 告

( 任 期 を 終 え る に 際 し て )

会 長 久 保 田 彦 穂

会長をおおせつかって、一年を、ほんとにやっとの思いで過らせていただきました。

「大過なく」という言葉がございますが、私は世の中でこれほど嫌いな言葉はございません。

大過なくということは、悪いこともしないが善いこともしない。平穩無事ですが「珍香もたかず屁もたれず」といった平穩無事といったものを意味するよりに思われます。

少々ぐらいは間違っても、何か独創的なものを持ってロータリーの理想に一歩でも、二歩でも、皆さまと共に近づいてみたいなどと考えて、何とか自分なりに工夫もしてみたのですが、一年をかえりみますと、どうやら「大過あり」といったことになってしまったようでした。お恥しい次第でございます。

新会長と交代するにあたって申し訳けないような、ほっとしたような複雑な心地がいたしております。この一年間をあたたかくご協力下さった会員の皆さまに、ただ感謝いたすのみでございます。

## 幹 事 報 告

幹 事 久 保 政 次

年度を終るに当り『隔りを取り除こう』と云う会長テーマに対し幹事としてどれ程の成果を挙げ得たかと深く自省して居ります。年度の始めには、あれもやりたい、これもやってみたいと色々企画を考えて居りましたが、大した事も出来なかった様です。

併し一年間どうか無事任務を終える事が出来ましたのも全く会長始めとして  
 会員各位の非常な御協力があったればこそと改めて深く感謝致して居ります。

ロータリーは奉仕する 個人個人の集りであると云われて居りますだけに  
 クラブの活動は会員相互の積極的な協力がなかったら到底円滑な運営は出来な  
 い事を痛感致しました。

今後とも宜敷しく御願ひ致します。

1. 本年度会員数

- 頭初会員数 61名
- 退会者 9名
- 入会者 13名
- 現在会員数 65名

甲斐 増田 高田  
 海井 岸野  
 木重 倉田

2. 出席率

7月	94.42%	8月	100%	9月	98.05%
10月	97.59%	11月	98.79%	12月	98.07%
1月	98.39%	2月	96.77%	3月	99.16%
4月	99.22%	5月	98.46%	6月	98.45%
平均	98.08%				1177.37

3. グラブ内会合

- クラブ協議会 5回
- クラブ討論会 4回
- 炉辺会合 2回
- クラブ有志懇談会
- 合同例会(市内4RC) 2回

本年度予算決算について

本年度より一般予算の他に特別勘定を独立して決定し、新入会員の入会時  
 の特別基金を特別基金勘定へ、ニコニコ寄付もニコニコ寄付金勘定へとし、  
 新に特別準備金勘定を設け事務局員の退職給与引当金の積立と将来鹿児島で

開催される地区大会の為の出費の準備として地区大会準備金を年間20万円を会費の中から積立てることとした。

## 会 計 報 告

会計 川 上 鉄太郎

本年度は6月末に会計を締切ってから決算を実施し、初年度当初のクラブ協議会に於て会員の承認を得る事とします。従って本報告に於ては、クラブの会計は記帳、現金保管等過誤なく実施せられている事だけを一応報告致します。

## クラブサービス報告

副会長 岩 元 正 二

- 各委員会を開催し、友好的運営を図り、各委員の積極的活動を促すべく努力した。
- 拡大方針についても積極的に動きを続け近く具体化の見込みです。
- 会員増強にも極めて活発なる努力を重ね多数の新会員を迎えた。
- 年次大会、チャーターナイト等の出席者も増えており、尙会員数も65名になったので新旧会員相互の親睦を図るなど共にロータリアンとしての自覚と責任の向上に努めた。

## S A A 報 告

委員長 外 西 寿 彦

委 員 桜 美 義 明

1. 例会のふん囲気をなごやかなものにし、訪門者によい印象を与えるよう座席の配置を工夫したり、ロータリーソング以外の歌を選ぶなど努力した。
2. 親睦委員会と連絡を保ちながら、ニコニコBOXの増収をはかり、会員相互の理解と親睦を深めるよう努力したが、会員皆様の御協力のお陰で、ニコニコBOXもほぼ当初予算に達成することができました。

## 出席奨励委員会報告

委員長 鮫 島 志 芽 太

委 員 高 井 敏 治

〃 原 田 隆 造

当クラブは、クラブ創立以来出席率の良いクラブとして認められていたのがあるが、今期になってから出席率が低下してきたのはまことに残念である。

会員数のふえたこともあろうが会員教育の徹底などにもっとつとむべきであったと思う。

## 職業分類委員会報告

委員長 牧 田 健 二

委 員 小 池 鉄 太 郎

〃 佐 伯 延 次 郎

〃 有 蘭 敷 男

1. 充填及び未充填の職業分類一覧表を昭和45年10月7日付で作成し、クラブ全会員に配布した。
2. 当クラブ区域の職業分類調査を行なって有力な未充填部門を指示した。
3. 未充填部門については全会員は勿論、特に会員増強委員会、会員選考委員会の全面的協力を求め、会員の増強に努めた。しかし、昭和45年7月頭初の会員61名は昭和46年6月の年度末においては、入会13名、退会9名となり、結局4名の増加で全会員65名となり、未充填部門は4部門が充填された。
4. 例会毎に有力な未充填部門の表示を行なう計画であったが、計画倒れに終わったのは残念であった。

## 会員選考委員会報告

委員長 河 井 時 義  
 委 員 森 川 盛 満  
           土 谷 久 雄  
           風 間 梯 次

### 基本方針

クラブ拡大の意義は、ロータリーの本質である奉仕の理想を實踐する一つの手段であることから、当クラブに多くの分野に渉り、よい資質と資格を備えて会員を推薦して頂き、クラブの繁栄に資したい。

尙選考の基準は次の様になっている。

1. 善良な成年男子で、職業上よい世評をうけている者
2. 従事する事業にある程度の裁量権のある者
3. 地区内に事業所又は住所を有する者

### 実 績

以上の方針に基づき職業分類、会員増強委員会等の御協力により今年度

13名の入会を迎へ、クラブは益々充実した。

唯、出席率が低下の傾向にある為、今後は選考時に特にこの点について配慮し、又ロータリー情報、出席奨励委員会等と協力してクラブの成績向上に繋るものと認む。

### 会員増強委員会報告

委員長 高田 光 義

委員 岩田 太 一

” 荻野 貞 二

年度頭初の会員数は61名であったので、一割増強と67～8名の線までを目標として努めたが、退会者が案外多く9名であったので、新会員13名の推せんが出来、結局純増4名と止まった。

### プログラム委員会報告

委員長 藤 安 辰 造

委員 小 山 幸 義

岩 元 健 吉

永 田 良 司

山 口 清 次

卓話の割り分り ゲスト50% 会員25% 映画25%程度として、バラエティに富んだ興味ある卓話をという目標で実施したつもりであるが、充分ではなかったかも知れないが、何んとか目標通り実施されたと思う。

今後考慮すべき事はゲストの卓話者に対して差上げる謝礼金と粗品の金額が数年来1,300円位であるが、この金額を引上げる必要があると思う。

最後に、委員会の皆様の御協力と会員各位の御援助があった事を厚く御礼申上げます。

### 業 績

下記実施表の通りである。

映 面	3回	6%
ゲ ス ト	21回	42%
会 員	15回	30%
フォーラム	4回	
協 議 会	5回	22%
炉 辺 会 合	2回	

### 卓 話 の 実 施 状 況

	ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
	演 題	職 業	氏 名	演 題	氏 名
45 7.	2			新会長、幹事就任挨拶	久保田会長 久保 幹事
	9			クラブ協議会 新委員会活動方針発表	
	16	新生アフリカと 鹿児島	鉄道労働科学研究所 人間工学室長	飯山 雄次	
	23	鹿児島県開発の 方向	鹿児島県企画部長	山之口安秀	
	30	スタミナ	南日本芸術学園 事務局次長	崎間 トヨ	
8	6			ファイヤサイドミーティング	
	13	私の見たアメリカ	谷川物産 社長	谷川 栄一	
	20			クラブフォーラム ロータリー財団について	岡元健一郎
	27	帰国交換学生 挨拶		清川, 大段 島名	



		ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
		演 題	職 業	氏 名	演 題	氏 名
9	3	聴覚障害児童生徒の教育について	鹿児島県立ろう学校 校長	上大園 博		
	10	スライド 郷土玩具をたずねて	鹿児島銀行提供			
	17				観月家族会	
	24				クラブ協議会 公式訪問を控えて	
	29				市内4RC合同例会 研究グループ来訪	
10	8				公式訪問例会	
	15				クラブフォーラム 青少年奉仕	柴山 一雄
	22	ニュースの裏話	南日本新聞社論説委員	大山 巖		
	29				袖について	高 義朗
11	5				オーストラリアの ロータリークラブ	高井 敏治
	12				クラブ協議会 地区大会出席報告	
	19	視覚障害をのりこえて	鹿児島県立盲学校 校長	内田 貢		
	26				韓国を訪ねて	岩元 正二
12	3				ソ連欧米より滞りて	鯉島志芽大
	10	スライド 仕事への関心 人間への関心	富士銀行提供			
	17	独唱	鹿児島短大助教授	野村みち子		
	23				クリスマス家族会	

		ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
		演 題	職 業	氏 名	演 題	氏 名
12	28	子供とは何か	鹿児島大学小児科部長	寺脇 保		
46 1	7	新春雄感	鹿児島県知事	金丸 三郎		
	14				変わった小説の話	久保田彦徳
	21				クラブ協議会 委員会の上期報告と 下期計画	
	28	鹿児島市の水道	鹿児島市水道局長	越場 三郎		
2	4	現下の学生運動	鹿児島地方公安調査 局長	近藤 松久		
	11	休 会				
	18				クラブフォーラム 職業奉仕	塘 一郎
	25				出席について	桜美 四郎
3	4				年次総会	
	11				3分間スピーチ (新入会員)	小園 正人 新福 均 山口 清次
	18	映画 陸地よさらば	MBC提供			
	25				第5回 ロータリー賞表彰式	
4	1	法医学者の見た 最近の世相	鹿児島大学 医学部教授	城 哲男		
	8				ファイヤサイドミーティング	
	15	歴史教育と 教科書裁判	鹿児島大学 文理学部教授	川井 修治		
	22	ソ連・北欧米 社会福祉見学	今村病院 院長	今村源一郎		

		ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
		演 題	職 業	氏 名	演 題	氏 名
4	29	休 会				
5	6				クラブフォーラム 社会奉仕	浜田 栄
	13	東南アジアを 視察して	鹿児島経済大学教授	高橋 良宣		
	20	歴史の教訓	国史研究所長	山上 八郎		
	27	最近の金融状況	日本銀行 鹿児島支店長	石川 通達		
6	3	成人病と食事	鹿児島中央保健所長	本田 寿		
	10				シンクタンクのお話	安楽慶一郎
	17	バイオリン独奏	鹿児島短期大学教授	橋口 十蔵		
	24				クラブ協議会 委員会報告と 一年間の反省	

## 広 報 委 員 会 報 告

委員長 川 上 鉄太郎

委 員 安 楽 慶一郎

米 倉 秀 雄

古 木 圭 介

鍋 島 宏

地域社会 一般の人々にロータリークラブについての理解を深めるためクラブ情報の広報を行った。当委員会の当初の計画には意欲的にたくさんの事項を掲げたが、その半ばも達成できず慚愧の至りである。

## 記

- 7月10日 新年度役員，理事，委員会委員の新聞報道
- 9月25日 本年度RI会長のメッセージ徹底のため「隔りを取り除こう」の吊り看板を作成して毎例会々場に掲げている。
- 3月25日 第5回ロータリー賞受賞者，大脇利隆，大脇ナルご夫妻についての記事およびロータリー賞贈呈式についての記事を新聞報道。
- 6月11日 次年度役員，理事，委員会委員の新聞報道。

## 親睦活動委員会報告

委員長 島 津 忠 丸  
委員 岩 元 基  
下 野 隆 三  
中 山 和 春  
小 園 正 人  
新 福 均  
三 角 桂次郎  
中 村 俊 雄

各委員の絶大など協力により親睦の実をあげられたように思います。

内容は例年にならって取りたててあげることも特にないのですが、本年は「隔りを取り除こう」のスローガンに従い、加治木クラブとの合同の催しを行った。

1. 9月17日18時より城山観光ホテルに於て観月家族会を開催。
2. 12月24日18時より当例会場に於てクリスマス家族会を開催，特に本年は加治木クラブとの合同家族会として行い好評を得た。
3. ゴルフ大会

- 1 1月25日(吉野コース参加8名) 4月11日(伊集院コース参加13名,加治木クラブ1名)の2回ゴルフ大会開催
4. 更に4月17日には,県下RC親善ゴルフ大会に3名参加,クラブ順位5位の成績
5. 6月10日愛丸に於て新入会員の融和を目的に夕食会を開催した。

### ロータリー情報委員会報告

委員長 川 村 洋  
委員 福 田 敏 之  
池 田 広  
徳 田 基

1. 新入会員に対する教育は入会前に文献,資料を配布し,ロータリアンの特典,義務の解説,特に出席に関する意義を強調した。
- 新入会員と委員会の炉辺会合が未実現に終わったことは遺憾であった。
2. 委員会の勉強会を1回実施した。
3. ロータリー関係の情報を週報に記載してもらった。
4. 事務所の文献資料を調査し,必要な資料を追加購入した。

### 会報・雑誌委員会報告

委員長 柴 山 一 雄  
委員 新 福 栄 熊  
西 郷 隆 永  
山 本 友 博

1. 週報編集の十分な準備

2. 欠席者への週報の完配
3. ロータリーの友, ガバナ一月信の必要点の掲載
4. ロータリーの友への投稿
5. 鶴岡RCとの連絡を週報に掲載
6. 鮫島志芽太氏著の「日本で一番好かれた男」10冊を鶴岡RCへ贈呈

## 職業奉仕委員会報告

委員長 林 幸 光  
 委員 川 路 清 高  
           塘 一 郎  
           瀬 上 一 郎  
           徳 沢 紀 生

1. 職業奉仕のあり方についての話しあいを例会でやって頂いたが、このことについては、会員各位がその職場で忠実に働くということへの自覚が一番大事なことであるということが強調されたことに意義があったと思います。
2. 今まで当ロータリークラブで各職場の中から永年勤続者を推薦して頂いて表彰してきたので今年度も久保幹事と相談し、理事会での議題にもしたが、このことは毎年やらなければならないという規定もないのだから、本年はこれを見送り、来年度にお願いしたいということになり、従って本年度の職業奉仕委員会は大した活躍をしませんでしたが、来年度のご活躍をお願いしてこの報告を終わります。

尚、次年度にまたがる計画として今秋音楽会をチャリティショウとして開催する事を検討中である。

## 社会奉仕委員会報告

委員長 浜田 馨  
委員 岡山 栄  
土橋 英夫  
若松 宇治彦

### 本年度業績

1. 非行少年の補導活動への一助として鹿児島市中学校生徒指導連絡協議会へ金一封を贈呈した。
2. 県立ろう学校長に卓話をお願いして身体障害児童の実状について会員の認識を深め、テニス用具一式を同校に寄贈した。
3. 都市美化運動（花いっぱい運動）への協力の一環として、宇宿町の国体軟式テニスコートの周辺に鹿児島並びに谷山ロータリークラブと合同で夾竹桃の生垣を寄贈した。
4. ロータリー賞推薦委員会から推薦された肝付郡根占町登尾小学校辺田別府分校の大脇先生御夫妻を表彰し金一封を贈呈した。
5. ベルー大地震に見舞金をおくった。
6. 鹿児島県歳末助け合い運動に金一封を贈った。
7. 鹿児島県身体障害者安全運転友の会へ助成金を贈った。
8. 1970年にR1から「意義ある業績賞」を受賞した白杵ロータリークラブのチャリティバザーのスライドを同クラブから拝借して例会で撮影した。

## 青少年奉仕

### インターアクト委員会報告

#### ローターアクト

---

委員長 光 吉 正 昭

委員 高 義 朗

中 村 善 治

渡 辺 匡

川 田 恵 一

1. ワンダーフォーゲル運動に関し、当番クラブの鹿兒島南クラブに協力して推進援助した。
2. 阿蘇国立「青年の家」で催された第373区第6回インターアクト年次大会に出席し、インターアクトクラブとの交流及び活動の実情把握に努めた。
3. ローターアクトクラブの例会に委員が交代で出席、又当クラブの例会、クリスマス家族会にメンバーを招待し交流を密にする様努めた。
4. 1月15日成人の日の早朝に鶴丸高校インターアクトクラブメンバーと磯の菅原神社に参拝し、大学受験合格を祈願した。

### 国際奉仕委員会報告

---

委員長 春山 ジャステン

委員 岡 元 健一郎

桜 美 四 郎

竹之内 安 己

#### 実 績

1. 国際奉仕についてのクラブフォーラムをもって会員の理解を深めた。



2. 市内3クラブ合同で米国より交換学生を一年間受け入れた。
3. 米国ニューヨークより，研究グループを迎えた。
4. 370区の交換学生のグループが当地区を旅行のさい2名を柴山会員宅に泊めてもらった。
5. ジョージア州ノースデカルブクラブとの姉妹クラブ盟約の準備を始めた。

#### 反省

1. 鹿児島在住の東南アジア留学生を会員宅に招待してもらい交流を深めたいと考えたが実施できなかった。
2. 隣国韓国クラブとの交流を始めたらどうかと思う。

### ロータリー財団委員会報告

委員長 岡元 健一郎

#### 基本方針

1. ロータリー財団活動の趣旨と現状を会員に充分理解してもらおう。
2. クラブの財団寄付金を増加する。
3. 積極的に補助金候補者を推薦する。

#### 業績

1. 昭和45年6月21日373地区協議会に出席して財団に関する知識を得た。
2. クラブフォーラムで財団の歴史と活動の趣旨，現状について説明した。
3. 百万ドル食事を2回実施した。
4. 当クラブより1972年～1973年度の財団奨学生応募として，大学課程および大学院課程へ尾之上 齊君，古沢 日出夫君2名を地区ロータリー財団委員会へ推薦した。

## 会 長 報 告

( 任 期 を 終 え る に 際 し て )

会 長 久 保 田 彦 穂

会長をおおせつかって、一年を、ほんとにやっとの思いで過させていただき  
ました。

「大過なく」という言葉がございませうが、私は世の中でこれほど嫌いな言葉  
はございませう。

大過なくということは、悪いこともしないが善いこともしない。平穩無事  
で「珍香もたかず屁もたれず」といった平穩無事といったものを意味するよ  
うに思われます。

少々ぐらいは間違っても、何か独創的なものを持ってロータリーの理想に一  
歩でも、二歩でも、皆さまと共に近づいてみたいなどと考へて、何とか自分な  
りに工夫もしてみたのですが、一年をかえりみますと、どうやら「大過あり」  
といったことになってしまったようでした。お恥しい次第でございませう。

新会長と交代するにあたって申し訳けないような、ほっとしたような複雑な  
心地がいたしてあります。この一年間をあたたかくご協力下さった会員の皆さ  
まに、ただ感謝いたすのみでございませう。

## 幹 事 報 告

幹 事 久 保 政 次

年度を終るに当り『隔りを取り除こう』と云う会長テーマに対し幹事として  
どれ程の成果を挙げ得たかと深く自省して居ります。年度の始めには、あれも  
やりたい、これもやってみたいと色々企画を考へて居りましたが、大した事  
も出来なかつた様です。

併し一年間どうか無事任務を終える事が出来ましたのも全く会長始めとして  
 会員各位の非常な御協力があったればこそと改めて深く感謝致して居ります。

ロータリーは奉仕する 個人個人の集りであると云われて居りますだけに  
 クラブの活動は会員相互の積極的な協力がなかったら到底円滑な運営は出来な  
 い事を痛感致しました。

今後とも宜敷しく御願ひ致します。

1. 本年度会員数

- 頭初会員数 61名
- 退会者 9名
- 入会者 13名
- 現在会員数 65名

甲斐 増田 高田  
 海井 岸野  
 木重 倉田

2. 出席率

7月	94.42%	8月	100%	9月	98.05%
10月	97.59%	11月	98.79%	12月	98.07%
1月	98.39%	2月	96.77%	3月	99.16%
4月	99.22%	5月	98.46%	6月	98.45%
平均	98.08%				1177.37

3. グラブ内会合

- クラブ協議会 5回
- クラブ討論会 4回
- 炉辺会合 2回
- クラブ有志懇談会
- 合同例会(市内4RC) 2回

本年度予算決算について

本年度より一般予算の他に特別勘定を独立して決定し、新入会員の入会時  
 の特別基金を特別基金勘定へ、ニコニコ寄付もニコニコ寄付金勘定へとし、  
 新に特別準備金勘定を設け事務局員の退職給与引当金の積立と将来鹿児島で

開催される地区大会の為の出費の準備として地区大会準備金を年間20万円を会費の中から積立てることとした。

## 会 計 報 告

会計 川 上 鉄太郎

本年度は6月末に会計を締切ってから決算を実施し、初年度当初のクラブ協議会に於て会員の承認を得る事とします。従って本報告に於ては、クラブの会計は記帳、現金保管等過誤なく実施せられている事だけを一応報告致します。

## クラブサービス報告

副会長 岩 元 正 二

- 各委員会を開催し、友好的運営を図り、各委員の積極的活動を促すべく努力した。
- 拡大方針についても積極的に動きを続け近く具体化の見込みです。
- 会員増強にも極めて活発なる努力を重ね多数の新会員を迎えた。
- 年次大会、チャーターナイト等の出席者も増えており、尙会員数も65名になったので新旧会員相互の親睦を図るなど共にロータリアンとしての自覚と責任の向上に努めた。

## S A A 報 告

委員長 外 西 寿 彦

委 員 桜 美 義 明

1. 例会のふん囲気をなごやかなものにし、訪門者によい印象を与えるよう座席の配置を工夫したり、ロータリーソング以外の歌を選ぶなど努力した。
2. 親睦委員会と連絡を保ちながら、ニコニコBOXの増収をはかり、会員相互の理解と親睦を深めるよう努力したが、会員皆様の御協力のお陰で、ニコニコBOXもほぼ当初予算に達成することができました。

## 出席奨励委員会報告

委員長 鮫 島 志 芽 太

委 員 高 井 敏 治

〃 原 田 隆 造

当クラブは、クラブ創立以来出席率の良いクラブとして認められていたのであるが、今期になってから出席率が低下してきたのはまことに残念である。

会員数のふえたこともあろうが会員教育の徹底などにもっとつとむべきであったと思う。

## 職業分類委員会報告

委員長 牧 田 健 二

委 員 小 池 鉄 太 郎

〃 佐 伯 延 次 郎

〃 有 蘭 敷 男

1. 充填及び未充填の職業分類一覧表を昭和45年10月7日付で作成し、クラブ全会員に配布した。
2. 当クラブ区域の職業分類調査を行なって有力な未充填部門を指示した。
3. 未充填部門については全会員は勿論、特に会員増強委員会、会員選考委員会の全面的協力を求め、会員の増強に努めた。しかし、昭和45年7月頭初の会員61名は昭和46年6月の年度末においては、入会13名、退会9名となり、結局4名の増加で全会員65名となり、未充填部門は4部門が充填された。
4. 例会毎に有力な未充填部門の表示を行なう計画であったが、計画倒れに終わったのは残念であった。

## 会員選考委員会報告

委員長 河 井 時 義  
委 員 森 川 盛 満  
土 谷 久 雄  
風 間 梯 次

### 基本方針

クラブ拡大の意義は、ロータリーの本質である奉仕の理想を實踐する一つの手段であることから、当クラブに多くの分野に涉り、よい資質と資格を備えて会員を推薦して頂き、クラブの繁栄に資したい。

尙選考の基準は次の様になっている。

1. 善良な成年男子で、職業上よい世評をうけている者
2. 従事する事業にある程度の裁量権のある者
3. 地区内に事業所又は住所を有する者

### 実 績

以上の方針に基づき職業分類、会員増強委員会等の御協力により今年度

13名の入会を迎へ、クラブは益々充実した。

唯、出席率が低下の傾向にある為、今後は選考時に特にこの点について配慮し、又ロータリー情報、出席奨励委員会等と協力してクラブの成績向上に繋るものと認む。

### 会員増強委員会報告

委員長 高田 光 義

委員 岩田 太 一

” 荻野 貞 二

年度頭初の会員数は61名であったので、一割増強と67～8名の線までを目標として努めたが、退会者が案外多く9名であったので、新会員13名の推せんが出来、結局純増4名と止まった。

### プログラム委員会報告

委員長 藤 安 辰 造

委員 小 山 幸 義

岩 元 健 吉

永 田 良 司

山 口 清 次

卓話の割り分り ゲスト50% 会員25% 映画25%程度として、バラエティに富んだ興味ある卓話をという目標で実施したつもりであるが、充分ではなかったかも知れないが、何んとか目標通り実施されたと思う。

今後考慮すべき事はゲストの卓話者に対して差上げる謝礼金と粗品の金額が数年来1,300円位であるが、この金額を引上げる必要があると思う。

最後に、委員会の皆様の御協力と会員各位の御援助があった事を厚く御礼申上げます。

### 業 績

下記実施表の通りである。

映 面	3回	6%
ゲ ス ト	21回	42%
会 員	15回	30%
フォーラム	4回	
協 議 会	5回	22%
炉 辺 会 合	2回	

### 卓 話 の 実 施 状 況

	ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
	演 題	職 業	氏 名	演 題	氏 名
45 7.	2			新会長, 幹事就任挨拶	久保田会長 久保 幹事
	9			クラブ協議会 新委員会活動方針発表	
	16	新生アフリカと 鹿児島	鉄道労働科学研究所 人間工学室長	飯山 雄次	
	23	鹿児島県開発の 方向	鹿児島県企画部長	山之口安秀	
	30	スタミナ	南日本芸術学園 事務局次長	崎間 トヨ	
8	6			ファイヤサイドミーティング	
	13	私の見たアメリカ	谷川物産 社長	谷川 栄一	
	20			クラブフォーラム ロータリー財団について	岡元健一郎
	27	帰国交換学生 挨拶		清川, 大段 島名	



		ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
		演 題	職 業	氏 名	演 題	氏 名
9	3	聴覚障害児童生徒の教育について	鹿児島県立ろう学校 校長	上大園 博		
	10	スライド 郷土玩具をたずねて	鹿児島銀行提供			
	17				観月家族会	
	24				クラブ協議会 公式訪問を控えて	
	29				市内4RC合同例会 研究グループ来訪	
10	8				公式訪問例会	
	15				クラブフォーラム 青少年奉仕	柴山 一雄
	22	ニュースの裏話	南日本新聞社論説委員	大山 巖		
	29				袖について	高 義朗
11	5				オーストラリアの ロータリークラブ	高井 敏治
	12				クラブ協議会 地区大会出席報告	
	19	視覚障害をのりこえて	鹿児島県立盲学校 校長	内田 貢		
	26				韓国を訪ねて	岩元 正二
12	3				ソ連欧米より滞りて	鯉島志芽大
	10	スライド 仕事への関心 人間への関心	富士銀行提供			
	17	独唱	鹿児島短大助教授	野村みち子		
	23				クリスマス家族会	

		ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
		演 題	職 業	氏 名	演 題	氏 名
12	28	子供とは何か	鹿児島大学小児科部長	寺脇 保		
46 1	7	新春雄感	鹿児島県知事	金丸 三郎		
	14				変った小説の話	久保田彦徳
	21				クラブ協議会 委員会の上期報告と 下期計画	
	28	鹿児島市の水道	鹿児島市水道局長	越場 三郎		
2	4	現下の学生運動	鹿児島地方公安調査 局長	近藤 松久		
	11	休 会				
	18				クラブフォーラム 職業奉仕	塘 一郎
	25				出席について	桜美 四郎
3	4				年次総会	
	11				3分間スピーチ (新入会員)	小園 正人 新福 均 山口 清次
	18	映画 陸地よさらば	MBC提供			
	25				第5回 ロータリー賞表彰式	
4	1	法医学者の見た 最近の世相	鹿児島大学 医学部教授	城 哲男		
	8				ファイヤサイドミーティング	
	15	歴史教育と 教科書裁判	鹿児島大学 文理学部教授	川井 修治		
	22	ソ遠・北欧米 社会福祉見学	今村病院 院長	今村源一郎		

		ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
		演 題	職 業	氏 名	演 題	氏 名
4	29	休 会				
5	6				クラブフォーラム 社会奉仕	浜田 栄
	13	東南アジアを 視察して	鹿児島経済大学教授	高橋 良宣		
	20	歴史の教訓	国史研究所長	山上 八郎		
	27	最近の金融状況	日本銀行 鹿児島支店長	石川 通達		
6	3	成人病と食事	鹿児島中央保健所長	本田 寿		
	10				シンクタンクのお話	安楽慶一郎
	17	バイオリン独奏	鹿児島短期大学教授	橋口 十蔵		
	24				クラブ協議会 委員会報告と 一年間の反省	

## 広 報 委 員 会 報 告

委員長 川 上 鉄太郎

委 員 安 楽 慶一郎

米 倉 秀 雄

古 木 圭 介

鍋 島 宏

地域社会 一般の人々にロータリークラブについての理解を深めるためクラブ情報の広報を行った。当委員会の当初の計画には意欲的にたくさんの事項を掲げたが、その半ばも達成できず慚愧の至りである。

## 記

- 7月10日 新年度役員，理事，委員会委員の新聞報道
- 9月25日 本年度RI会長のメッセージ徹底のため「隔りを取り除こう」の吊り看板を作成して毎例会々場に掲げている。
- 3月25日 第5回ロータリー賞受賞者，大脇利隆，大脇ナルご夫妻についての記事およびロータリー賞贈呈式についての記事を新聞報道。
- 6月11日 次年度役員，理事，委員会委員の新聞報道。

## 親睦活動委員会報告

委員長 島 津 忠 丸  
委員 岩 元 基  
下 野 隆 三  
中 山 和 春  
小 園 正 人  
新 福 均  
三 角 桂次郎  
中 村 俊 雄

各委員の絶大など協力により親睦の実をあげられたように思います。

内容は例年にならって取りたててあげることも特にないのですが，本年は「隔りを取り除こう」のスローガンに従い，加治木クラブとの合同の催しを行った。

1. 9月17日18時より城山観光ホテルに於て観月家族会を開催。
2. 12月24日18時より当例会場に於てクリスマス家族会を開催，特に本年は加治木クラブとの合同家族会として行い好評を得た。
3. ゴルフ大会

- 1 1月25日(吉野コース参加8名) 4月11日(伊集院コース参加13名, 加治木クラブ1名)の2回ゴルフ大会開催
4. 更に4月17日には, 県下RC親善ゴルフ大会に3名参加, クラブ順位5位の成績
5. 6月10日愛丸に於て新入会員の融和を目的に夕食会を開催した。

### ロータリー情報委員会報告

委員長 川 村 洋  
委員 福 田 敏 之  
池 田 広  
徳 田 基

1. 新入会員に対する教育は入会前に文献, 資料を配布し, ロータリアンの特典, 義務の解説, 特に出席に関する意義を強調した。
- 新入会員と委員会の炉辺会合が未実現に終わったことは遺憾であった。
2. 委員会の勉強会を1回実施した。
3. ロータリー関係の情報を週報に記載してもらった。
4. 事務所の文献資料を調査し, 必要な資料を追加購入した。

### 会報・雑誌委員会報告

委員長 柴 山 一 雄  
委員 新 福 栄 熊  
西 郷 隆 永  
山 本 友 博

1. 週報編集の十分な準備

2. 欠席者への週報の完配
3. ロータリーの友, ガバナ一月信の必要点の掲載
4. ロータリーの友への投稿
5. 鶴岡RCとの連絡を週報に掲載
6. 鮫島志芽太氏著の「日本で一番好かれた男」10冊を鶴岡RCへ贈呈

## 職業奉仕委員会報告

委員長 林 幸 光  
 委員 川 路 清 高  
           塘 一 郎  
           瀬 上 一 郎  
           徳 沢 紀 生

1. 職業奉仕のあり方についての話しあいを例会でやって頂いたが、このことについては、会員各位がその職場で忠実に働くということへの自覚が一番大事なことであるということが強調されたことに意義があったと思います。
2. 今まで当ロータリークラブで各職場の中から永年勤続者を推薦して頂いて表彰してきたので今年度も久保幹事と相談し、理事会での議題にもしたが、このことは毎年やらなければならないという規定もないのだから、本年はこれを見送り、来年度にお願いしたいということになり、従って本年度の職業奉仕委員会は大した活躍をしませんでしたが、来年度のご活躍をお願いしてこの報告を終わります。

尚、次年度にまたがる計画として今秋音楽会をチャリティショウとして開催する事を検討中である。

## 社会奉仕委員会報告

委員長 浜 田 馨  
委員 岡 山 栄  
土 橋 英 夫  
若 松 宇治彦

### 本年度業績

1. 非行少年の補導活動への一助として鹿児島市中学校生徒指導連絡協議会へ金一封を贈呈した。
2. 県立ろう学校長に卓話をお願いして身体障害児童の実状について会員の認識を深め、テニス用具一式を同校に寄贈した。
3. 都市美化運動（花いっぱい運動）への協力の一環として、宇宿町の国体軟式テニスコートの周辺に鹿児島並びに谷山ロータリークラブと合同で夾竹桃の生垣を寄贈した。
4. ロータリー賞推薦委員会から推薦された肝付郡根占町登尾小学校辺田別府分校の大脇先生御夫妻を表彰し金一封を贈呈した。
5. ベルー大地震に見舞金をおくった。
6. 鹿児島県歳末助け合い運動に金一封を贈った。
7. 鹿児島県身体障害者安全運転友の会へ助成金を贈った。
8. 1970年にR1から「意義ある業績賞」を受賞した白杵ロータリークラブのチャリティバザーのスライドを同クラブから拝借して例会で撮影した。

## 青少年奉仕

### インターアクト委員会報告

#### ローターアクト

---

委員長 光 吉 正 昭

委員 高 義 朗

中 村 善 治

渡 辺 匡

川 田 恵 一

1. ワンダーフォーゲル運動に関し、当番クラブの鹿兒島南クラブに協力して推進援助した。
2. 阿蘇国立「青年の家」で催された第373区第6回インターアクト年次大会に出席し、インターアクトクラブとの交流及び活動の実情把握に努めた。
3. ローターアクトクラブの例会に委員が交代で出席、又当クラブの例会、クリスマス家族会にメンバーを招待し交流を密にする様努めた。
4. 1月15日成人の日の早朝に鶴丸高校インターアクトクラブメンバーと磯の菅原神社に参拝し、大学受験合格を祈願した。

### 国際奉仕委員会報告

---

委員長 春山 ジャステン

委員 岡 元 健一郎

桜 美 四 郎

竹之内 安 己

#### 実 績

1. 国際奉仕についてのクラブフォーラムをもって会員の理解を深めた。



2. 市内3クラブ合同で米国より交換学生を一年間受け入れた。
3. 米国ニューヨークより，研究グループを迎えた。
4. 370区の交換学生のグループが当地区を旅行のさい2名を柴山会員宅に泊めてもらった。
5. ジョージア州ノースデカルブクラブとの姉妹クラブ盟約の準備を始めた。

#### 反省

1. 鹿児島在住の東南アジア留学生を会員宅に招待してもらい交流を深めたいと考えたが実施できなかった。
2. 隣国韓国クラブとの交流を始めたらどうかと思う。

### ロータリー財団委員会報告

委員長 岡元 健一郎

#### 基本方針

1. ロータリー財団活動の趣旨と現状を会員に充分理解してもらおう。
2. クラブの財団寄付金を増加する。
3. 積極的に補助金候補者を推薦する。

#### 業績

1. 昭和45年6月21日373地区協議会に出席して財団に関する知識を得た。
2. クラブフォーラムで財団の歴史と活動の趣旨，現状について説明した。
3. 百万ドル食事を2回実施した。
4. 当クラブより1972年～1973年度の財団奨学生応募として，大学課程および大学院課程へ尾之上 齊君，古沢 日出夫君2名を地区ロータリー財団委員会へ推薦した。